

教員採用試験勉強について

月日	内容	備考
3 / 28	東京アカデミー 4月生 (全日制) 申し込み <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>入学金 32万円 (参考書込み)</u> ・ 29日、30日体験入学 	直接、北九州校の事務室に行き、説明を聞く。 翌日入学。入学の手続きはその場で1時間程度、 <u>現金一括で前払い制。</u>
4 / 5	オリエンテーション	
4 / 7 ~ 6 / 18	授業開始 (直前演習) <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>月、水、金 (午前10時~午後5時10分)</u> ・ 1コマ2時間×3コマ ・ 昼休み12時から1時間 ・ 教室は朝8時半から夜9時まで使用できる。 ・ 教職教養の科目は、教育原理、教育心理、論文、人物対策、教育法規、教育史教育時事で月、金に開講。 ・ 一般教養の科目は、国語、英語、物理、化学、生物、地学、数学、政治、国際関係、時事問題で木に開講。 	昨年の10月からの入学者がほとんどのため、演習中心。 人物対策は、集団討論、個人面接、集団面接、模擬授業のガイダンスと実践。 一般教養は、政治経済が中心で、福岡県対策の内容。 国語、英語は2回あったのみ。理科の内容は基礎中の基礎、専門が理科の人は受講する意味は無い。
6 / 21 ~ 7 / 9	県別対策開始 (他県希望者は、他校へ転入可) <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>月、火、木、金 (午前10時~午後5時40分)</u> ・ 自己PR文や志望動機の提出と添削。 	福岡県・市・北九州市・山口県用の問題に変換 毎日問題演習ばかり
7 / 10 ~	自習 OR 個人面接	他県受験者もいるため 1次対策は終了。
7 / 28 ~ 7 / 31 8 / 22 ~ 8 / 25	2次試験対策 <ul style="list-style-type: none"> ・ 個人面接、模擬授業、集団討論 	予約制

その他の購入文献

- | | |
|------------------------|-----------------|
| ・ 2005年度版 学校小六法 共同出版 | 2200円 |
| ・ 理解しやすい化学IB、地学IB | ベスト 各1700円 |
| ・ 橋本の物理IBをはじめからていねいに | 東進ブックス 各1000円程度 |
| ・ 中学校学習指導要領 解説 理科編 文部省 | 120円 |

受験日までの道のり

私は、講師を1年間やってきて、3月の別れがこれほど辛いものとは知らなかった。校長先生からも、「まだ、後数年は講師をして、経験を積みなさい。」と言われたが、先輩方を見ていて、「その内担任を受け持たされ、30歳までは同じことの繰り返しで勉強する暇などない。」と感じたし、生徒と別れる辛さが当たり前にならない前に、その思いを勉強に託そうと思い、非常勤の話を通り、受験浪人の道を選んだ。

アカデミーに入学するまで

3月の終わりに、東京アカデミーと河合塾に直接説明を聞きに行く。事務室に直接行き、「教採の説明を聞きたいのですが？」といった。予約とかはしていない。以下が、その時に説明された様子。

(東京アカデミー)

女性事務員が1名で対応。丁寧な説明。質問にも全て答えてくれた。ただし、事務室が、公務員コース、看護コースなど他の課と同じ部屋なので、近くの人に教採である事を伝えたが良い。

- ・時間帯は全日部と夜間部と土日部があり、教職教養・一般教養コースと教職コース、小学校全科コース、中学校国語コース、中学校社会コースがある。
- ・10月生、1月生、2月生、3月生、4月生の5回の入学時期があり、10月生のクラスに、途中参加していく感じ。
- ・参考書代は、全てで3万円以内。あとは別途請求されず、入学金の中に含む。
- 私は、4月生、全日部の教職教養・一般教養コースで、全部で32万円かかった(参考書込み)

(河合塾)

- ・サテラインといって、東京で行われた講座のビデオを観て、自学自習するもの。時間に余裕の無い人や、繰り返し見られるので、安心。ただ、説明を聞きに行ったが、詳しく説明できる人がおらず、パンフレットを渡されてそれを代読されただけで、不安があった。やはり、大学の予備校が専門であり、無理やり教員採用試験コースを作った感じ。
- ・費用は、7~9万円程度。参考書は必要に応じて、別途請求される。

結局、アカデミーに決めた。全額一括前払いで、その時に参考書一式持たされる。ものすごい量なので紙袋を持参したほうが正解。

参考書の中に、セサミノートというのがあるが、私的には全然必要ないものだった。あらかじめ、購入しないことを伝えておいたほうが良い。(その分安くなる。)

アカデミーに入学後から1次試験まで

アカデミーに入学して、驚いたのがみんなのレベルの高さだった。例えば「プロジェクト・メソッドの提唱者とその内容を答えよ？」と先生から問われ、すらすらと答えることがほとんどの人ができた。私の勉強がいかに甘いか、身にしみた。私はとにかく、暗記できることは暗記して、早く追いつこうと以下の事をした。

教職教養の勉強法(4・5月)

参考書を1單元ごとに読み、ラインを引く。重要語句はピンク、その説明箇所は黄色で、参考書の単元の最後にある過去問を解く。
(わからなかった箇所は見直しし、もう一度参考書を読む。)
別冊で本試験問題集 2005 年度教員採用試験 分野別 教職教養 ・ という全国の過去問題を編集したものがあるので、それを何回も解く。
その日の授業の内容はその日の内に復習する。

とりあえず、専門は6月まで手をつけず、徹底的に教職教養を身に付けた。

授業のある日(月・水・金)

8:30~10:00 自習

10:00~17:10 授業

21:00~24:30 復習 宿題 自習

授業の無い日(火・土)

8:30~17:00 自習

21:00~24:30 自習

日曜日は休み。



心に決めた3か条

その1 勉強する時間帯を変えない!

その2 休む時は休む。
(ちょこちょこしないこと)

その3 本試験問題を中心に、
試験の傾向を探り、要領よく

専門の勉強法(6月より)

その日の授業の復習で教職教養は確認程度にし、帰宅後は専門に集中する。

物理の薄めの演習版(チャート式)の問題集を最初から解く。

小單元ごと理解するまで何度でも解いた。(私の場合6月は物理のみの学習で終わってしまったので、ほかの人はもっと要領よくできると思う。)

7月に入り、全国の専門の過去問を解く。北海道より順に南下していき、1日5~8県分くらいの過去問を解いた。2次試験の内容と高校の専門の問題はしていない。

問題の傾向をつかみ、記述にも慣れておく。

間違いやわからなかった所を、チャートや参考書で確認する。

全国模試の問題や、通信の問題を本番同様に実戦形式でする。(総仕上げ)

その他

- ・ 論文対策は授業のみ
- ・ 毎日、新聞には目を通す。(特に教育関係と社会情勢)
- ・ 時事問題や答申は、暇な時などに目を通しておく。(個人的には暗記の必要は無いと思うし、むしろ大切なのは、注目されている教育問題とその解決策や対応を、中教審がどう捉えているかだと思う。)
- ・ 同和・人権問題は、福岡県を受けるなら必須。法律の順番と内容を抑えておいたほうがいい。年表で覚えるのが一番。10日位毎日朝晩目を通せば、覚えるはず。

そのような感じで本番を迎えた。

以下は、試験の概要。

福岡県 1次試験

7月24日

集団討論(14:30集合 玄海高校)

玄関ホールで班毎に座って待機。時間がきたら、教室まで案内される。

教室に入室後面接官の指示で着席。

1班 6名(A~Fまで、私はCさん)

机上にA4の資料が裏返しにおいてあり、筆記用具を出す。

Aさんから順に、受験番号と氏名を言う。

資料を裏返し、構想時間 7分で自分の考えをまとめる。

お題 「読書活動の推進が叫ばれているが、その意義などについて討論せよ。」

面接官の合図で討論開始。

(自分の班の概要)

私が最初に発言。12学級以上の学校への司書教諭の設置について、その背景や可能性を述べ、現状の提起をした。その活動例として、朝学習での読書の時間に話が進展。創意工夫するのが苦手な子供に、きっかけの場を提供するために有効である。しかし、その反面、宿題と同じで義務的なものになってしまい、反対に読書嫌いを増やす恐れもあることを問題提起。子どもが自ら望んで読書したくなる環境づくりが重要である。例えば、朗読会を開いたり、漫画を敬遠しがちだが、ある程度まで認めたりするなど、興味を持った事を調べる活動を抑制しないように気をつけた読書活動を目指すべきである。

また、別の形の活動として、専門の授業での調べ学習について提案。基礎・基本的内容からノーベル賞の内容など最先端の科学まで、図書室には眠っていて、全ての子供の「なぜ？」に答えてくれる貴重な空間である。その図書室の資料についての利用法について討議。いろいろな案がでる。また、野外観察時の調査の資料探しや長期休暇の宿題として、市や県の図書館の利用も考えられる。

教室内だけでなく家庭や地域でも読書活動の推進を図り、子どもがいつでも自由な時にすぐ手元に本がある環境を目指す。そのためには保護者や地域の方々との共通理解が必要であり、総合的な学習の時間や放課後などを利用し、学校の図書室や地域の図書館を地域のコミュニティセンターとして活用し、読書を通じて、視野を広め、それを他者と共有し、確固としたものに育成することのできるように、進めていきたいものである。

というところで、時間がきて終了。

7月25日(8:30集合 宗像高校)

論文

お題は、「信頼される教師像について」

どのように論述しても、よほどのことが無い限り外れないと思った。

私もいたって工夫が無いが、まず、教師自身が生徒、保護者を信頼し、可能性を諦めないことが重要である事を述べた。その後、家庭と学校、地域と学校の双方向の働きについて述べ、情報公開に努力し、地域運営委員会などの可能性について少し触れ、見えない不安を取り除くことに努力するみたいな事を論述した。

教職教養・専門筆記

内容は例年通りのマーク式。専門は基本的な内容であったが、問題数が多く時間がぎりぎりだった。基本的な問題を正確に素早く解く訓練が必要と感じた。また、環境問題に関する問題がみられ、エルニーニョ現象やフェーン現象などの原理についても簡単な知識を把握しておくべき。来年も今年が猛暑だったので、温暖化や台風については勉強しておいたほうが良いと思った。そのほかは、特に問題ない。試験が終了した時点で、教養、専門共にできは8割くらいだと感じた。

8月14日 合格通知

2次試験対策をはじめた。

2次試験勉強法

指導要領解説 中学校理科の目標や各分野の目標などをノートにまとめ、とにかく暗記。

指導内容の注意点や取り扱いについては、内容を箇条書きにまとめ、必ず暗記すること。

個人面接の答えを用意し、就寝前に1時間繰り返し音読しながら、暗記する。

基本的な実験をノートにまとめ、学校で練習。

(私の場合、講師経験が1年間のため、2年生の実験以外はしたことが無かったから。)

水泳は、試験の前日に近くの市民プールで練習(泳げるか確認)。

福岡県2次試験

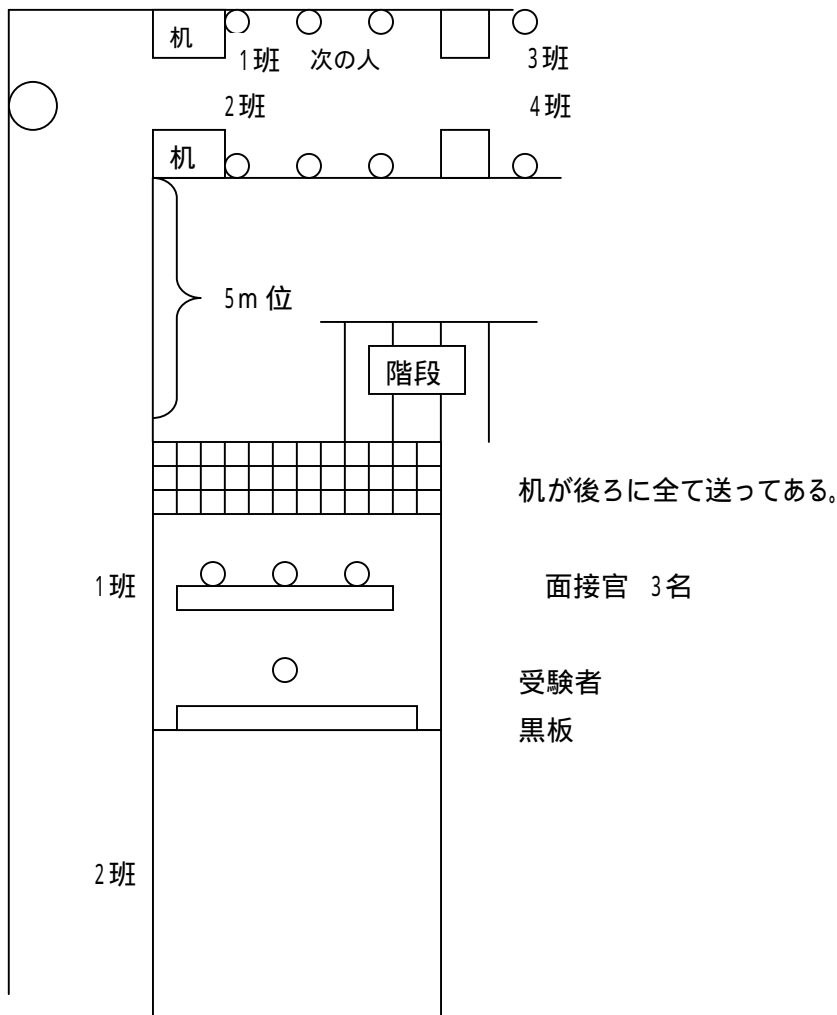
8月26日(春日野小学校 15:30集合)

個人面接

玄関ホールで待機。同じ時間帯の受験者は、養護・英語・理科・国語・体育の受験者の一部で12名くらい。1班2~3名で班ごとに座る。

全体で、個人面接の流れや注意事項の説明がある。その後、引率者によって教室まで移動。面接の教室から5mくらい離れた廊下に行き、各班の先頭の人が用意された机に着席し、以外の人はその班の先頭の人のお後ろに用意された椅子に着席。

会場説明 椅子



机の上に個人面接の流れが記載された A4 の資料が置いてあり目を通すよう指示がある。

指導案作成用の解答用紙が配布され、裏返しに机の上に置かれる。

試験監督の合図で資料を裏返し、20分間で指導案作成する。(それ以外の人には座って待機)

問題の内容は、人によってそれぞれ異なる。

(私の場合)

中学校1年生を対象に指導案を作成しなさい。

進路計画をより具体的に行うための指導のねらいと指導計画を1時間分作成しなさい。

20分経過を試験監督が知らせ、各班の先頭の方は今作成した指導案を持って、面接の教室へ移動する。2番目の人が、前の席へ移動し、前の方が面接中に指導案を作成する。

指導案と荷物を持ち、自分の班の面接が行われる教室の前に1人で待機するよう指示。

ガラス越しに、中の面接官から入室するように合図があり、入室する。

入室後、一番左端の面接官より、校種、教科、受験番号、氏名を板書するように指示があり、縦書きで右端に大きめに書いた。

起立したまま、指導案を見ながら、ねらいと流れを3分ほど説明したあと、導入の5分間のみ模擬授業を行う。

特に面接官が時間を測ることはせず、導入が終わり次第自然に終わる感じ。私の場合は自分で「以上です。」と導入が終わった事を告げた。

指導案を面接官に渡し、着席した後、個人面接開始。

中央、右、左の面接官がそれぞれ4問くらい質問。

中央の面接官から(志望動機、自己PRより)

- ・どうして理科の教員を志望したのか
- ・資格について、今後どうするつもりか
- ・大学時代に描いていた理想と講師をしてみてもの現状はどう感じたか

右側の面接官から(教科の内容)

- ・授業を行うにあたって、工夫している点は何か
- ・野外観察をどのように授業に取り入れているか
- ・少人数授業についてどう思うか
- ・理科嫌いの子どもに対して、どのような対応を行ったか

左側の面接官から(現在の教育問題について)

- ・ボランティア活動をどのように取り入れていくか
- ・今の学校には、何が足りないか
- ・開かれた学校のために何が重要なものを2点述べよ

真ん中の面接官から

- ・同和教育についてどんな事を学んできたか
- ・同和教育をどのように捉え、どのような教育活動を展開していきたいか

・指導できる部活動は、この他に無いか
模擬授業、個人面接あわせての所要時間は40分位で、長くしゃべりすぎた感がある。
もっと、要領よくまとめて話すべきだったと反省。

個人面接終了し、板書を消して、指導案を面接官に渡して退室する。そのまま帰宅した。

8月28日(春日野中学校 8:30集合)

諸注意(9:10~9:20)

自分の受験教室へ移動後、教室で待機。1クラス8人程度で、中央の1列を挟んで4人ずつ縦列で机が用意。(右上に受験番号)しばらくして、試験監督が入室し、諸注意があった。

適性検査(9:20~11:00)

諸注意のあと、監督より筆記用具、受験票を出すように指示がある。

内田クレペリン検査の用紙が配布される。その後、放送が流れて、加算作業の練習があり、本番開始。15分×2回ある。

手がかなり疲れるので、当日は使い慣れたシャーペンか鉛筆が良いと思う。

続けて、性格検査が20分。YES、NOで答えていく形式。

解答シートが回収され、休憩。試験管は退室。

専門筆記試験(11:10~12:10)

試験管入室。試験問題を配布。

試験開始

(問題)大問が5題程度有り、最後の1題が指導計画作成。時間が必ずといっていいほど足りなかった。完成した人は、はたしているの?という感じだった。(同じ教室の受験者は全員終わらなかったみたい。)

(1) 目的意識を持って活動を行う意義を述べよ。

(2) 科学的な見方や考え方を養うには、どのような活動が必要か述べなさい。

(1) 野外観察で植物や動物を観察する際の留意点を2つ挙げなさい。

(2) 解剖実験を行う際の留意点を4つ挙げなさい。

(1) 事故防止を行ううえでの留意点を述べよ。

(2) 生徒が火傷をした際の応急処置とその他の対応について述べよ。

(1) 1分野と2分野の標準配時数はそれぞれ何時間か。

(2) 基礎・基本定着や個に応じた指導を行う時間を2つ挙げよ。

物質と化学反応の利用についての指導計画作成しなさい。

学習活動・指導上の留意点・評価・配時(B4 1枚横書き)

水泳（13：00～）

飛び込みなし25メートル、練習有り、男女別、野外

模擬実験（14：20～ 1人あたり 約40分）

全員同じ実験内容で、本年度は、

『電流と電圧の関係について』

5分の構想後、25分で演示実験、試験官 1名だった。

水泳が終了した人順に、控え室で待機。今年は私を含め3名で待機。待っている間は、他の受験者と談話したり、実験の予想を立てたりした。

私の場合、最後だったので1人で待機中は、引率者と談話して過ごした。

順番が来ると、白衣着衣後、引率者に理科室まで誘導される。

理科室入室後、受験表と筆記用具を出すように指示され、受験票を提出。

教卓へ移動する。

試験管から実験の手順や準備品の説明がある。

（この時点で何の実験か把握できるので安心）

はじめの合図で、教卓の上に裏返しに置いてあるプリントを裏返し、構想を考える。

プリントの下の4分の1のスペースにメモをとってもよい。

（模擬実験）A4のプリントに載っていた内容。（私の覚えている範囲）

電流と電圧の関係について、演示実験を行いなさい。

- ・生徒は電圧計と電流計と電源装置の基本的な操作は行えるものとする。
- ・並列回路と直列回路の違いをおさえた上で、電流と電圧の性質の違いについても触れること。
- ・電流計と電圧計のつなぎ方などについて確認すること。

など、後何点が注意点が挙げられたあと、用紙の下の4分の1程度の余白がある。

この余白に、簡単な授業のめあてや流れをメモ程度にまとめる。

5分の終了の合図と共に実験開始。試験管はメモを取りながら、実験室の机に腰をもたれかけて実験の様子を観察。窓を開けてくれたり、近寄って操作を確認したり、比較的にリラックスした雰囲気だった。

終了後、板書を消しプリント提出。

時間は25分と最初に言われるが、実験のきりのいい所まで延長してくる。そのため、試験の所要時間が40分程度かかる。私は最後だったので実験道具を試験管と談笑しながら片付けて退室し、帰宅した。

2次試験が終わって初めての感想

個人面接が終わってしまえば、あとは緊張せずに取り組めると思う。模擬実験は、講師経験の長い人なら、何も対策を立てないでいいと思う。大気中も試験中も他の受験者と話ができ、ゆっくり時間があるのでリラックスして受けられると思う。(できれば別にして・・・)

最後にアドバイスとして、来年度の2次試験の予想

筆記の指導計画の分野は生物か物理の分野。
実験は、硫化鉄の実験か、体細胞分裂の実験の可能性が高い。

また、試験を快適に乗り切るために、

- ・ 2日目の前日は、試験会場近くにホテルを手配していた方が安心して休める。
- ・ 朝ごはんは、意外とおなかがすくので、多めに食べていたほうがいい。
- ・ めちゃくちゃ暑いので、凍らせたペットボトルのお茶を2本位用意しておく。
- ・ 女性のスーツは、絶対パンツがおすすめ。水泳の後、汗と水分でストッキングが履けず、みんな生足で帰宅していた。

以上、平成17年度 福岡県教員採用試験の報告でした。